

よ さこい を通したまちづくり

「最初は人前で踊るなんて私には無理だと思っていたんですが、音楽を聞くと心が浮き立って、体が自然に動き出す。みんなでひとつになって楽しもうとするとところがよさこいの魅力ですね」と古賀さんは楽しそうに語る。

「独立当初、5人でスタートした時は何から始めていいのか分かりませんでした。踊りの指導やアドバイスをしてもらった縁で現在まで続けることができました」と振り返る。

2年前から「小城市芦刈地区まちづくり活動助成金」を受け、よさこい教室を開催したところ、メンバーは3歳から68歳までの個性豊かな38人へと拡

大した。

今年、市からの助成も最後となることから、活動の集大成として9月13日に「芦刈よさこい祭り」を開催した。県内から多数のよさこいチームが出場し、大成功で終えた。

次は11月7日（土）に開催される農村カフェの事業「手作りマーケット」を盛り上げていきたいと意気込む。

よ さこい から得たもの

10年ほどよさこいに携わってきた古賀さんは「とにかく続けていくこと、一生懸命でした。途中、心が折れそうになったこともありましたが、多くの人のおかげでここまで続けることが出

来ました。それに、よさこいを通して子どもたちが元気に成長していく姿を見ると、この芦刈YASSAI隊を続ける意味の大きさを感じます。今、頑張ったことが、自信や人生の糧になったら嬉しいですね」と語る。

芦刈の活性化のために、何かと多忙な古賀さんだが、家庭をとっても大事にされていて、言葉のはしばしから、お子さんたちと仲の良い様子が伝わってくる。「私の背中を押して送り出してくれる家族に、とつても感謝です」と、語る笑顔が輝いていた。

古賀さんありがとうございました。

# I Love ogi

第4回  
～ アイラブおぎ～



みちこ 古賀実千子さん

## ● プロフィール ●

1960年 芦刈町生まれ。3人の子の母。現在、農業を営むかたわら、芦刈YASSAI隊のリーダー、ムツグロウ王国芦刈まちづくりフォーラムや農村カフェの一員として活動中。49歳。

## ● ギャラリー ●



▲ 芦刈YASSAI隊のみなさん。チーム名であるYASSAI（=やっさい）は沖ノ島詣りのかけ声から名づけられた。



▲ 9月13日に行われた「芦刈よさこい祭り」。秋空に元気なかけ声が響いた。

